

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日 ( 13:15 ~ 14:00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 宮崎・伊藤・中村・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	人	7人

**前回の改善計画**

初期支援は、一番大事な場面である為、関わりを持った時からの情報を共有し、スムーズに利用開始できるように努めていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

毎日のミーティングで情報提供、共有が以前よりできており、新しい利用者の方に合ったサービス提供ができていた。1名だけ他利用者と折り合い悪く中止となった方がおり、今後の課題となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	3	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	4			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	1		7

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の情報、ニーズについては、利用開始前に事前に情報提供があるので理解できている。又、ミーティング等を通じ共有する場面が多い。
- ・利用開始前のミーティングで情報共有することができ、本人を不安にさせず取り組むことができた。
- ・ミーティングや申し送りノート等を通して、利用開始前に利用者や家族の情報を共有してから関わりことができている。
- ・スタッフ全員で情報の共有に取り組んでいる。
- ・ミーティング、日誌、ノートを通して改善している。
- ・本人の情報はサービス開始前にアセスメントなどを読むことで得られている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者一人一人に声がけ気遣いができていない。
- ・利用者の本音が分からない時がある。
- ・家族、介護者と直接会う機会が無い為、タイムリーな情報の把握が十分にできていない。

理由)・時間、機会の制約がある。(介護者が日中仕事で不在、遠方にて不在等会う時間が得られていない)

- ・利用者が遠慮し本当の気持ちを言えないでいる。
- ・時間不足、コミュニケーション不足。
- ・利用者の変化に気付けない。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)

通い時、昼食後(長い間の習慣により)休む方々と(昼寝)休まない方々がおられる。休まない方々とコミュニケーションをとる為に人員を配置する。会話やかるた、トランプ等に介入し「楽しかった」という気持ちを持ち人間関係が築けるよう支援する。関わりの中で利用者のニーズを把握していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日 ( 13:15 ~ 14:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 宮崎・伊藤・中村・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画

今後、利用者の「～したい」を把握する為に根本的に業務内容を見直していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

積極的に「～したい」の訴えがある利用者様にはほとんど実施できたと思われるが、希望を言えない方については再考していく必要が課題として残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	2		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7			7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	1		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	1		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・短期目標：本人の希望、理容を受けたい、病院に行きたい、趣味の麻雀をやりたい、配食を取りたい、入浴したい、コロナワクチン接種に行きたい、楽しみを持ちたい、家事ができなくなり支援を受けたい
- ・長期目標：在宅生活を継続したい
- ・利用者への対応から得られた情報をミーティング等で積極的に発言し提言して、次の対応に同一レベルでできるよう努力している。
- ・何とかではあるが、ミーティング等での指導で近づけるように努力している。
- ・日々の会話や関わりの中で利用者の「～したい」という思いや情報を得てミーティングで共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・人数が増えてくることで一人一人の要望に応えることができない。

理由)・転倒防止の為、トイレ誘導、見守りが多くなっている為。

- ・コミュニケーション不足、時間が足りない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

一人一人の「～したい」は何かを話し合い、サービスの内容に幅があることを知らせ、本人の希望することが叶えられるよう対応していく。関わりを多く持つことで当面の目標が実現できるよう努める。又、長期目標「住み慣れた家で暮らしていきたい」が継続できるよう支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日 ( 13:15 ~ 14:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 宮崎・伊藤・中村・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画

「以前の暮らし方10個」について、本人とコミュニケーションをとれる時間を作ることから検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

以前の暮らし方の継続の必要性は認識しているが、高齢や認知機能の変化もあり、継続は難しくなっている方が多い。少しでも在宅生活が継続できるよう本人との話し合いや状況把握が課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	5		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	2		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	3			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4			7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・状況を把握し、即時対応ができています。
- ・得られた情報はミーティングなどで提言し共有すると共に、支援の強化に努めている。
- ・何事にもミーティングにより情報を得、短い関わりの中でもできるだけ近づけるように努力している。
- ・利用者の状況に合わせた介護を心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・忙しさを余裕なくコミュニケーションが取れていない。
- ・「以前の暮らし方」について、まだ不足で10ヵ以上把握できていない。
- ・新しい利用者の「以前の暮らし方10個」の把握ができていない。

理由)・介助に時間がかかる方が複数おられる。マンツーマン対応が必要の為、他利用者の支援につなげるコミュニケーションが不足している。コミュニケーションの時間を持つ工夫が足りない、時間を設定してみようか。

- ・利用者とのコミュニケーション不足があると思うので、もっと関わりを積極的に持ち、把握に努めていく必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

「在宅で暮らしていきたい」という思いを大切に、出来る限りの支援をしていく。  
短時間での訪問の回数を増やすことで見守りができる為、訪問に対応する人員を増やしていく。  
一人一人の生活状況をミーティングで話し合い共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日(13:15 ~ 14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 宮崎・伊藤・中村・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	人	7人

前回の改善計画

通い休みの日の暮らし方について聴き取りをし支援が不足していないか、確認していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域資源の内容の把握が認識できていない。再認識した上で少しでも地域との繋がりを持ちながら支援していくことが課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	4		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		1	6		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	3	1	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・遠方にいる家族に利用者の状況を情報提供し、指示を仰いでいる。
- ・買物希望ある場合、同行している。(八食センター、ピアドゥ、ラピア等)
- ・美容院の希望ある場合、同行している。
- ・本人の生活スタイル、人間関係を理解し、支援に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍でイベント行事、ボランティアの受け入れが難しい。(ドライブ等)
- ・情報を十分に把握できていない。
- ・民生委員の活動や地域の資源等の把握が希薄である。
- ・利用日以外の過ごし方を把握できていない。
- ・地域資源を把握していない。

理由)・園内で得る情報だけでも介助が出来ることで、それ以上を知ろうとしていない。

- ・知識、関心の不足。
- ・時間的制約がある。
- ・利用者との会話の時間が少なく、地域とどのように関わっているか分からない、把握が必要。
- ・地域との関わりがほとんど無い利用者もいて、結びつけることが難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者一人一人の在宅での過ごし方を把握に努める。特に一人暮らしの方については、本人、家族との関わりを多くし困ったことや不安はないか、地域の方々とのつながりはあるか等探り、地域の資源に結びつけられるか考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月22日(13:30 ~ 14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 木幡・中村・松長・伊藤・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	1人	人	7人

前回の改善計画  
 必要な理由を明確にし、利用する意識を持っていただく為、説明を継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 本人、家族の状況に合わせ、通い、訪問、宿泊の調整はできているが、家族の介護力と合っていない時あり、説明の不足のところがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	3		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	5			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	6			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6			7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・ケアプラン、ニーズに沿って援助している。  
 ・本人の体調、状態に合わせて対応している。  
 ・利用者の体調の変化に配慮し援助の変更など、柔軟な対応を心がけている。  
 ・ニーズに応じたサービス提供ができています。  
 ・「変化」を共有し、柔軟な支援ができています。  
 ・利用者や家族のニーズに合わせて支援を行っている。  
 ・利用者様、家族様のニーズに合わせて提供できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・地域の資源について知識不足があり、支援に活かせていない。  
 理由) ・地域資源の把握不足。  
 ・コロナ禍の為、資源活用が難しい。  
 ・地域の資源が分からない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 ミーティングは毎日12:50~13:10の間に利用者の情報を話し合い共有し問題を解決に努め利用者が暮らしやすい生活に近づけている。  
 他、本人、家族の状態に合わせ、「通い」「訪問」「宿泊」が適切に利用されるよう今後も継続し対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月22日(13:30 ~ 14:00)

6. 連携・協働

メンバー 木幡・中村・松長・伊藤・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	3人	4人	7人

前回の改善計画	コロナ禍が沈静化するまで、地域との関わりは見込めない。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の沈静化に伴い、少しずつボランティアを受け入れ始めている。防止に努めながらすすめる課題がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?			4	2	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			4	2	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			3	3	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			3	3	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のサービス機関とは連絡を取り合い情報を共有している。</li> <li>・福祉用具や住宅改修を希望された場合、サービス担当者会議を行っている。</li> <li>・地域の方より野菜、手作りジャム、折りたたんだ新聞紙等の支援を受けている。</li> <li>・高齢者支援センターより会議への参加があり出席した。</li> <li>・コロナワクチン2回目接種も終わり、ボランティアの踊りの会、ピアノ演奏を月1回ずつ行った。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の為、行事、イベント等の減少で参加ができていない。</li> </ul> 理由)・コロナ禍では難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
医療機関、訪看、訪り、福祉用具について、本人の状況に合わせ、本人が在宅生活を継続できる為の検討をしており、今後も継続していく。医療機関の来園での集団接種等、連携を強化していく。地域ケア会議への参加、公民館での研修等に参加し学んだことを活かしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月22日(13:30 ~ 14:00)

7. 運営

メンバー 木幡・中村・松長・伊藤・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	2人	1人	7人

前回の改善計画  
コロナ禍の状況を見ながら地域との交流をすすめていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
利用者、家族からの要望は月1回のモニタリング他随時話し合い、運営に活かしているが、地域とのつながりについて、野菜、折りたたんだ新聞紙等の寄付が数名の方よりある他、コロナ禍もありできていない。利用者家族からの苦情については、本人、家族の言葉や連絡ノートから拾い、ミーティングで話し合い対応に努めている。利用者がどのように地域と関わっているか分からないところ多く、連携不足が課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		5	1		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6			7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	1	1	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1		4	1	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・利用者様、ご家族様の意見、苦情は「報、連、相」で対応し、その後に活かしている。  
 ・利用者ファーストを大切にしていきたい。  
 ・利用者、家族からの意見や苦情はミーティングで共有し、改善等を話し合い対応している。  
 ・事業所のあり方については各自意見を出し合っている。  
 ・家族からの苦情は聴き取り、ミーティングで話し合い対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・コロナ禍の為できていない。  
 ・コロナ禍の影響もあり、地域との取り組みはできていない。  
 ・地域の方との関係性が希薄である。  
 ・地域の方からの意見、苦情は聞く機会がない。  
 理由) ・コロナ禍で接点が激減した。  
 ・地域との話し合い(接点)をする機会がない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 利用者、家族、介護者からの苦情はミーティングで共有し、早速対応していく。  
 地域の方からの意見は運営推進会議他でお聞きし運営に活かしていく。職員が意見を出しやすい雰囲気を作ることに努めていく。意見を運営に反映していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月22日(13:30 ~ 14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 木幡・中村・松長・伊藤・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	1人	2人	7人

前回の改善計画

休みの職員の為にも前日のミーティングについて読み直し、再度情報共有を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティング内での研修は時々行うが、回数は少ない。質を向上する為に今後増やす必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	3	1	2	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1		4	2	7
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	3	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	1		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・コロナ感染症について、パソコンで全員学習することができた。
- ・内部研修、オンライン研修、リスクマネジメントの学習等少しではあるが行うことができています。
- ・あらゆる場面でのリスクを常に考え行動できるよう心がけている。
- ・実践者研修、管理者研修に受講することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍により、対面研修の機会が減り参加できていない。
- ・研修会等に参加できていない。

理由)・リモート研修に馴染みが無く、パソコンの操作に機会も少ない。

- ・夜間型の研修は参加の希望が無い。家事、育児で時間がとれないスタッフがほとんどである。
- ・自ら研修会参加を申し出していない。(時間的制約がある)
- ・オンライン研修に対する不安がある。時間不足である。
- ・リスクマネジメントについて話し合いの場が無く、ヒヤリハットで終わっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

コロナ禍であり、研修はほとんどリモート研修になっている。職員の資質向上の為に職員全員がリモート研修の機会を持てるよう進めていく。研修記録は回覧し職員がいつでも見ることが出来るようにしておく。リモート研修記録は誰でもいつでも見ることが出来るように各自勉強していく。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月22日( 13:30 ~ 14:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 木幡・中村・松長・伊藤・西浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	2人	人	人	7人

前回の改善計画

常に利用者の状態についてミーティングで情報共有し、人権プライバシーを守れるよう努めている。

前回の改善計画に対する取組み結果

成年後見制度は現在のところ必要な方無く、認識が薄い。他、人権、プライバシーは凡そ守られている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1			7
②	虐待は行われていない	7				7
③	プライバシーが守られている	5	2			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5			1	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	1			7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・個人情報の管理がされている。
- ・人権、プライバシーについては厳守できている。
- ・人間の尊厳を重視している。
- ・身体拘束、虐待は行われていない。
- ・プライバシーを守りながら、個人情報管理ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・成年後見制度は以前研修会に参加し学習したが、活用できていない。
- ・制度の適応ケースを十分に把握できていない。

理由)・成年後見制度を利用するケースがない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

身体拘束、虐待は今のところ無いが、オムツを外し、リハパン、パットの中綿をむしり取り、床の上へ散らす行為をされる方あり、尿便付着の中綿が散乱していることは不潔の為、ホック式のパンツを使用中、外すことが出来ないか検討していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)東建設計	代表者	代表取締役 中里義範	法人・ 事業所 の特徴	平成 27 年 3 月 1 日開設、「生き生きと穏やかに」を理念に掲げ、高齢者が在宅生活を継続していきることができるように訪問、通い、泊まりを調整し支援している。認知症の独居の利用者が増加しており、地域高齢者支援センター、医療機関、訪問看護、訪問リハ、福祉用具等との多職種連携を図っている。毎日午前午後の体操レクやドライブ、行事等で楽しみや他者との関わりを深め、在宅生活を支援している。地域の方々から種々のボランティア支援はコロナ禍の為、現在は見合わせている。
事業所名	小規模多機能ホーム 椿寿園	管理者	西浦敏恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	7 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	10 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	本人や家族の希望する暮らし方を実現できるように、職員間だけでなく、民生委員や高齢者支援センターの相談員の方々と情報交換を行っていく。	12:50~13:10 ミーティングで職員間の情報共有を実施することで、本人、家族の希望する暮らし方に近づけている。近所の方の支援を受けることができた方もあり、今後も民生委員や高齢者支援センターと情報交換を行っていく。	利用者一人一人に寄り添った支援がされている。柔軟な対応がされている。今後も支援してほしい。	在宅時の暮らし方を把握し、本人の「～したい」も実現が少しでもできるよう、一人一人の利用者のニーズを把握し、地域で生活が継続できるよう支援していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議の開催に向けて、換気、消毒、マスク、シールド等、感染防止の環境を整え、実施を目指す。	コロナ禍で感染予防の物品は少しずつ準備できている。利用者のテーブルにはパーテーションを 6 台準備し、その他アルコール電動スプレーで通り終了後消毒を行っている他、PCR 検査、抗原検査で職員の感染早期発見に努めている。	コロナ禍で運営推進会議を見送っているところも多い。状況に合わせて開催を考えてもよいのでは。	災害時の避難通路について誰でも分る場所からどのように避難するとスムーズにできるか、職員間の共有を図る。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナの感染状況を見極めながら、地域との関わりを増やしていく。	コロナ禍の為、外部（地域）からの支援は数回のみであった。高齢者支援センター主催の地域ケア会議に出席し情報交換を行った。	コロナ禍ではあるが、利用者の必要とする通院、買い物等の同行のニーズに気を付けて対応してほしい。	利用者の家族に濃厚接触者や職員の子どもの通う保育園の休園等あり、人員不足がある。PCR 検査、抗原検査を実施し、クラスターが発生しないよう、手洗い、マスク、消毒等努めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者がコロナに感染しないよう相談や見守りを強化する。登録以外の利用者へも支援していく。現在、登録以外の方 1 名の方の支援を行っている。	利用者、職員の 3 回目のワクチン接種を医療機関の来園による集団接種を実施することができた。在宅への訪問時は極力感染しないようにマスク、アルコールスプレー等をして予防に努めている。	一人暮らしの方への支援は色々な場面があると思われる。訪問ヘルパーではできないサービスができるので心強いです。	利用者一人一人のニーズに対応していく。土中の大根堀りが重くてできないとのことで、出向き支援した。例として、草取り他本人のできないところと一緒にすることも可能である。必要に応じ訪問で暮らしを支援していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>困難事例について意見を参考にす。地域ケア会議に相談し、適切な支援のアドバイスを受け実施につなげていく。</p>	<p>ケースについて対応をお話しすることで小規模多機能のサービスの内容を理解していただいた。高齢者支援センターよりも相談あり対応することができた。今後も運営推進会議でケースの相談を実施していく。</p>	<p>柔軟な対応の内容を聞くことができている。今後、地域のケアにどのように活かすかを考えていきたい。</p>	<p>一人一人の暮らしが違うことや、認知症の進行で近所の方に迷惑をかけることもあり、運営推進会議でケースの事例検討を行い、アドバイスを受けることで在宅生活の継続つなげていく。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>地震災害時の場合、停電、止水等想定し備えていく。</p>	<p>地震、津波、水害等の自然災害の他、感染症の対策も考えていかなくてはならない。BCP（事業継続計画）について知識が無く、リモート研修を受けている。2年以内に作成の義務がありすすめていく。</p>	<p>地域的に津波、洪水から避難しなければならない場所にある為、常に危険意識を持って訓練を行ってほしい。</p>	<p>BCP（事業継続計画）の作成に取り組んでいく。ミーティングで必要性を共有し、身近なライフラインがストップした場合を想定し、取り組みやすいところから全員で作成していく。</p>